

日本遺伝カウンセリング学会誌 投稿規定

1. 日本遺伝カウンセリング学会誌は臨床遺伝学および遺伝カウンセリング学に関する研究，速報，諸種の情報および資料を紹介することを目的とする。特に日本人について得られた科学的事実を，国民に還元しうような研究の発表を優先する。原則として国内外の他誌に未投稿のものでなければならない。
2. 掲載論文に関する著作権を日本遺伝カウンセリング学会に譲渡する。
3. 本誌には次のものを掲載する。
 - 1) 原著（研究論文），2) 症例報告（ケースレポート），3) 系統的レビュー，4) 実践報告，5) 資料，6) 総説，7) 学術集会プログラム，8) 委員会報告，9) 情報，10) 論説，提言，11) 経験，12) 編集者への手紙，13) 編集委員会が認めたもの。
4. 1) 原著（研究論文），2) 症例報告（ケースレポート），3) 系統的レビュー，4) 実践報告，5) 資料，6) 経験，7) 編集者への手紙について一般投稿を受け付ける。使用したアプリケーションを記載し，別紙「日本遺伝カウンセリング学会誌投稿票」とともに提出する。
5. 本誌投稿の筆頭著者は日本遺伝カウンセリング学会会員に限る。ただし，依頼原稿についてはこの限りではない。
6. 論文の採択は査読者の査読を経た上で決定する。査読により論文の修正が必要となる場合，著者は指定する期間内（2ヶ月）に修正論文を返送する。指定期間に再提出されない場合は新規投稿として扱う。
7. 論文の投稿に際しては，必ず共著者の同意を得ること。「ヘルシンキ宣言」，ならびに本学会の「遺伝関連三学会の学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」（2020年1月）を遵守したものでなければならない。
8. 原則，和文での投稿とするが英文での投稿も可とする。ただし査読および採択後のプロセスを英文に限定することはできない。原著，系統的レビュー，実践報告，資料，経験は16,000字（英文での投稿の場合は8,000単語）以内，症例報告は8,000字（英文の場合は4,000単語）以内とする。論文題名，著者名，所属名，連絡先，要旨は英文も記載する。図（写真を含む）・表は，可能であれば英文で作成することとするが，英語による表現が難しい分野についてはその限りではない。原稿字数には図・表を含み，1つの図・表あたり原則として400字（英文の場合は200単語）と換算する。文章は現代かなづかいに従う。外国語の原語綴は行末で切れないようにする。
9. 原稿の内容は
 - 1) 第1頁（表紙）：論文題名（和文・英文 両方），著者名，所属名，連絡先（所属機関，勤務先または自宅の住所，電話番号，Fax番号，e-mail address）およびそれらの英文を記入する。論文題名には略語は使用しない。
 - 2) 第2頁に和文400字以内および英文200単語以内の要旨と，5つ以内のキーワードを和文と対応する英文で記す。論文本文は3頁から書き始める。
10. 投稿原稿は，用紙サイズをA4版用紙に設定したパーソナルコンピュータで作成する。字体の種類と大きさは，和文は明朝体，英文字はTimes，ともに12ポイントとする。行間は，18ポイント程度とる。上下左右に2cm程度の余白をとる。
11. 論文の構成としては下記例のようにまとめること。

原著，系統的レビュー，実践報告，資料：緒言－対象・方法－成績（結果）－考察－謝辞－文献－図表
 症例報告：緒言－症例－所見・経過－考察－謝辞－文献－図表
12. 見出し符号：1., (1), 1), i., (i), i) を基本順位とする。

ただし，緒言，研究対象および方法，結果（成績），考案，結論など論文項目の各項目には見出し符号は必要でない。
13. 文献：本文引用順に，文献番号を1), 2), 3), …とつける。

本文の引用箇所の右肩に出現順に通し番号をつけ，本文の末尾に一括して記載する。論文の表題を入れ，著者が4名以上の場合，筆頭から3名のみ，あとは“他”，“et al.”とする。なお，雑誌の省略名は和文の場合は『医学中央雑誌・収載誌目録』，洋雑誌では『Index Medicus』による。

 - i. 雑誌の記載例
 - i-1) 和雑誌記載例

著者名：論文題名. 雑誌名, 巻: 最初頁－最終頁, 発行年.

例) 古庄知己, 渡邊淳, 森崎裕子, 他: 難治性疾患克服研究事業による血管型エーラスダンロス症候群の実態調査. 日遺伝カウンセリング会誌, 31: 157-162, 2010.

i-2) 洋雑誌記載例

著者名：論文題名・雑誌名，巻：最初頁－最終頁，発刊年。

著者名は，姓 (last name) 名 (first name) のイニシャル，ミドルネームのイニシャルの順に表記する。

例) Heyeems RZ, Bytautas JP, Miller FA : A systematic review of the effects of disclosing carrier results generated through newborn screening. *J Genet Counsel*, 17 : 538-549, 2008.

i-3) オンライン版の場合

(1) DOI のある場合

著者名：論文タイトル・収載誌名，発行年，巻，最初頁－終了頁。doi : DOI 番号。

例) Kashima M, Tsubamoto H, Sato C, et al : Development of an integrated support system for hereditary cancer and its impact on gynecologic service. *Int J Clin Oncol*, 2013. doi:10.1007/s10147-013-0649-z.

(2) DOI のない場合

著者名：論文タイトル・収載誌名，発行年，巻，最初頁－終了頁。URL。

ii. 単行書の記載例

ii-1) 単一著者の例

著者名：書名，版数，最初頁－最終頁，発行書店，発行地，年。

例) Rapp R : *Testing Women, Testing the Fetus: The Social Impact of Amniocentesis in America (The Anthropology of Everyday Life)*. 53-77, Routledge, New York, 1999.

ii-2) 編集された著書のなかに収録された論文

著者名：論文名 (題名)。In 編者名，編者名，編者名 (Eds.) : 書名，版数，最初頁－最終頁，発行書店，発行地，年。

例) Smith ACM, Pollin TI : Patient education. In Uhlmann WR, Schuette JL et al. (Eds.) : *A Guide to Genetic Counseling*, 2nded, 177-201, John Wiley & Sons, Inc., Hoboken, 2009.

ii-3) 訳本の場合

著者名：原語書名。版数，年。訳者名 (訳) : 日本語書名。版数，最初頁－最終頁，発行書店，発行地，年。

例) McNamee S & Gergen KJ : *Therapy as Social Construction*. 1992. 野口祐二，野村直樹 (訳) : ナラティブ・セラピー－社会構成主義の実践－。142-153, 金剛出版，東京，1997.

iii. インターネット資料の記載例

著者名：“Web ページの題名”。Web サイトの名称。(媒体表示)，入手先 <URL>，(参照日付)。(Web サイトの名称は，著者名と同じ場合は省略可)

例) 日本医学会：“「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」”。

日本医学会 HP. <<http://jams.med.or.jp/guideline/genetics-diagnosis.pdf>>，(2012年6月5日参照)。

14. 図 (写真を含む) ・表：

図 (写真を含む) ・表は，可能であれば英文で作成する。ただし，英語による表現が難しい分野についてはその限りではない。本文と離して別葉とし，表は表 1，表 2…，図は図 1，図 2… のように番号をつける。本文の欄外に挿入箇所を明示する。表には必ず表題，図には図題をつける。また，本文を併読しなくともそれだけでわかるよう内容を簡単に記載することが望ましい。図はパーソナルコンピュータの図作成ソフトを用いて作成したものをを用いる。図 1，図 2，……とパワーポイントのスライド形式で作成してもよい。その場合は，各スライドに図，表の番号を記入する。JPEG 形式，TIFF 形式で作成してもよい。この場合，ファイル名に図表の対応とファイル形式がわかるように図表の番号と拡張子 (.jpg, .tif) を保存する。

15. 原則として国際単位系 (SI) を用いる。記号のあとにはピリオドを用いない。数字は算用数字を用いる。

16. 投稿原稿は原則として返却しない。

17. 採択後，著者校正は原則として初校 (1 回) のみとし，指定期限以内に返却するものとする。校正は脱字，誤植のみとし，編集委員会の承諾なき原文の変更，削除，挿入は認めない。

18. 印刷費は印刷頁 8 頁 (図表を含め，400 字詰原稿用紙 40 枚程度) まで無料とし，超過分の製作費は著者負担とする。

カラー写真や校正時に大幅な変更 (10% 以上) があつた場合はその費用は著者の負担とする。

19. 別刷は 30 部を無料贈呈し，それ以上は実費負担とする。

20. 投稿論文提出先

投稿原稿は、下記へメール添付にて送付する。ファイルサイズは5MB以下とする。編集部で受信後、ほどなく受領メールを返信するので、返信が届かない場合は、下記へ連絡すること。

日本遺伝カウンセリング学会誌編集部

メールアドレス home@medicaldo.co.jp

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-6 大阪華東ビル5F

株式会社メディカルドゥ内 日本遺伝カウンセリング学会誌編集部

Tel: 06-6441-2231 Fax: 06-6441-3227

21. メール投稿が困難な場合は、出力原稿1部および投稿原稿を収録したコンパクトディスク(CD)、USBメモリーなどの電子媒体(使用したアプリケーションを明記のこと)を郵送記録が残るものにて送付すること。

平成22年9月7日改訂

平成24年4月1日投稿論文提出先変更

平成24年9月20日改訂

平成25年12月16日改訂

平成28年6月13日改訂

平成30年6月28日改訂

令和2年1月25日改訂

令和2年7月2日改訂

令和3年1月24日改訂